

我慢

松戸市立貝の花小学校教頭

あかぬま ひろあき

赤沼 宏明

時代の流れや変化により生活にゆとりができ豊かになり、スピード感が増し価値観も多様化したことで、子どもの成長にも影響が見られるようになって来ています。

米国で「ヘリコプターペアレント」と呼ばれる過保護な親たちが社会問題化しているそうです。もう大人にならなければいけない年頃の大学生の子どもに、頭上を旋回するヘリコプターのように寄り添い、何か起きると”介入”してくる親たちのことで、実は日本でも珍しくはないそうです。モンスターペアレントを超える「ヘリコプターペアレント」の子どもは、親への依存心が強くなり自分で判断することをあまりしなくなり、自分で考え決断する力が衰えるなどの悪影響が出ているのだそうです。

幼児期から小中学校、そして高校大学と成長の過程に応じて様々なことを学び身につけていくわけですが、その過程において自然に親（大人）から離れ自立して（させて）いくことで、自分で考え判断し、自分で決断(行動)する力と自律心が身につけていきます。親（大人）が忙しくごく自然に子どもが身につけていった時代もありましたが、今は子どもに我慢（考え）させることを親（大人）が我慢して（待って）導いていかなければならない時代なのかもしれません。このような時代であるからこそ、地域・家庭・学校がそれぞれの機能を生かし連携を取り合いながら、子どもたちの健やかな成長を願い、たくましく、人間らしく生きていくための基礎となる力を身につけていきたいと思います。

おやじの会や町会の方々をはじめ多くの方々のご理解とご協力により、子どもたちが安全に安心して学校に通うことができます。ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。